

**無敗で県『三冠』目指す
明南ミニバスケットボール
スポーツ少年団**



11月22日に第32回栃木県ミニバスケットボール大会で優勝し、県内主要タイトル三冠に王手をかけた、明南ミニバスケットボールスポーツ少年団です。

部員数は、小学校3年生から6年生の22名で、4つの学校の児童たちが入部し活動しています。週3回、明治南小学校もしくは明治小学校体育館で、夕方約3時間の練習をしています。新チームになってからは、県内のチームには無敗で、練習試合も含めた勝率は、9割を超えているとのこと。夏に開催された関東大会では優勝しました。今は、1月に行われ

今月の輝ける星

る全国大会の県予選に照準を合わせて練習に励んでいます。その大会に優勝すれば、県内主要タイトル『三冠』を獲得します。

チームの監督である明治小学校の山口先生は、「今年は、練習試合も含めて負けが無いので、子どもたちの意識も含め、目標設定をするのが非常に大変です。」と常勝チームの苦勞を教えてくださいました。しかし、「入部して仲間同士の連携ができるので、子どもたちには、非常に良いと思います。また、組織でプレーするスポーツなので、強豪チームにチームプレーで勝つたときは、特にうれしいですね。」と喜びも教えてくださいました。

キャプテンの海老原美咲ちゃんからは、「元気な子が多いので、チームを一つにまとめるのは大変ですが、1月に行われる全国大会も出場できるように、一生懸命練習をして三冠を獲りたいです。」と力強い言葉が返ってきました。



かみのかわ 四季の野鳥 オオタカ・ノスリ (タカ科) チョウゲンボウ (ハヤブサ科)



オオタカ



左：チョウゲンボウ



右：ノスリ

初夢といえば「一富士、二鷹、三茄子」。今回はその二番目にあげられる「タカ」です。

野生のタカを見たことは？と聞くと、「トンビだけ…」という人も多いのですが、トビ以外にも（よく見られる順に）ノスリ、チョウゲンボウ、オオタカ、チュウヒ、ミサゴ、ハイタカ、ハヤブサなど、数多くのタカを今の時期に見ることができます。また、夏鳥として渡ってくるタカにはサンバ・ツミなどがいます。

写真のオオタカは、三ツ家の堤防から撮影したものです。まだ若鷹で全体に茶色がかった羽色ですが、顔つきは猛禽らしく鋭い目をしています。オオタカは、1年を通じて見られる代表的なタカです。

山地で繁殖し、秋に平地に降りてくるノスリは、飛翔時にはトビよりも白っぽく見え、翼の中央部にある黒い模様が特徴です。とまっている時は腹部の茶色の帯が目印です。

ハヤブサの仲間のチョウゲンボウは、ハトほどの大きさで尾が長く翼の先が尖っているのが特徴です。農耕地や野原を飛んで小鳥やネズミなどを捕らえます。

最後に、「タカ見」のおすすめ場所です。鬼怒川大橋から南へ、樹木や電柱、上空にも目を配りながら堤防を歩いてみましょう。また、カラスが騒ぐ時はタカがいることが多いので注意して見てください。運がよければ数種類のタカが現れるかも？意外に身近にタカはいます。